

=====
第7回 温暖化リスクメディアフォーラム

=====
各国約束草案 (INDC) をどう捉えるか? - リスクの観点から -
=====

年末の COP21 でのパリ合意に向け、各国から約束草案 (INDC: 2020 年以降の排出削減目標) が提出されています。しかし、各国の INDC を合計したものは、国際社会が掲げる「2°C目標」とギャップがあることが心配されています。では、INDC の合計は「2°C目標」にどれくらい足りないのでしょうか? また、それは将来どのような気候変動のリスクが待っていることを意味しているのでしょうか? 最新の研究成果をもとに、この問題について理解を深め、研究者とメディアの方々が一緒に考えていくためのフォーラムを開催します。

プログラム:

○開会のあいさつ (14:00)

○セッション1: 講演 (14:10~15:00)

◇ INDC の提出状況とその評価事例 (2°C目標とのギャップ含む)

黒沢厚志 ((一財) エネルギー総合工学研究所)

◇ INDC を延長した場合の排出・気候シナリオの下での影響リスク

高橋 潔 ((国研) 国立環境研究所)

○セッション2: パネル討論 (15:00~16:15)

・司会: 江守正多 ((国研) 国立環境研究所)

・パネリスト: 滝 順一 ((株) 日本経済新聞社)・秋元圭吾 ((公財) 地球環境産業技術研究機構)

黒沢厚志・高橋 潔

講演をふまえ、フロアも交えつつ、気候リスクへの対処や長期の気候目標について議論します。

○閉会 (16:30)

(会合終了後、講演者を交えた1時間程度の立食懇親会を予定しております。(16:30~17:30))

参加申し込み方法:

次の URL もしくは右の QR コードから web 上で参加をご登録ください。

<http://goo.gl/forms/J88YC2gkZY>

参加証等はありません。当日は、ご登録のお名前をお伝えください。

*お申し込み多数の場合、締め切る可能性があります。お早めにお申し込みください。



日時: 平成 27 年 11 月 5 日 (木) 14:00~16:30 (13:30 開場)

場所: フクラシア東京ステーション 6 階 会議室 D (東京都千代田区大手町 2-6-1 朝日生命大手町ビル)

参加費: 無料 参加予定数: 80 名

主催: 国立研究開発法人国立環境研究所(NIES)

東京大学国際高等研究所サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)

問い合わせ先: 環境省環境研究総合推進費戦略研究プロジェクト S-10 (s10-info@nies.go.jp)

会場へのアクセス：

フクラシア東京ステーション 6F 会議室 D

(東京都千代田区大手町 2-6-1) <https://www.fukuracia-tokyo.jp/access/>

朝日生命大手町ビル 6F

- ・JR[東京]駅・地下鉄[大手町]駅 地下直結 ・JR[東京]駅・日本橋口徒歩 1分
- ・JR 地下鉄[大手町]駅 B6 出口直結



フクラシア東京ステーション (地上地図)

東京都千代田区大手町2-6-1朝日生命大手町ビル5F、6F

羽田空港より電車で30分 / 羽田空港よりタクシーで20分

こちらより地図にアクセスしていただけます。→



環境研究総合推進費 S-10 プロジェクト（地球規模の気候変動リスク管理戦略の構築に関する総合的研究：愛称 ICA-RUS プロジェクト）では、制約条件、不確実性、リスク管理方策、社会の価値判断を網羅的に考慮したうえで、地球規模での気候変動リスクへの対処方法の選択肢を提示し、さらに、国際的合意形成への寄与、日本の交渉ポジション・国内政策立案の支援、国民の気候変動問題への理解の深化に貢献することを目指しています。